

# 令和7年度 特例の教育課程の実施状況報告

## 1. 学校・市町村概要 名護市立 屋部小学校

・教育目標: かしこく やさしく たくましい子

・所在地 ●沖縄県名護市字屋部47番地

・児童数

| 学年   | 小学校 |     |    |     |     |     |        |     | 中学校 |   |   |        |   | 小中計 |
|------|-----|-----|----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|---|---|--------|---|-----|
|      | 1   | 2   | 3  | 4   | 5   | 6   | 特別支援学級 | 計   | 7   | 8 | 9 | 特別支援学級 | 計 |     |
| 児童生徒 | 120 | 131 | 97 | 120 | 123 | 106 | 57     | 754 |     |   |   |        |   | ##  |
| 学級数  | 4   | 5   | 3  | 4   | 4   | 4   | 10     | 34  |     |   |   |        |   | 34  |

○名護市概要【人口】65,215人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

## 2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

- 歌や遊びなどの活動を通して、英語特有の発音やリズムに慣れる。
- 間違いをおそれず、英語発音をまねし、進んで発話する。

## 3. 取組の工夫:教科等の系統性・連続性を踏まえた学習指導【系統図や指導計画の作成

○授業中では、ALTの発音を聞き、繰り返し発音したり、友達と交流する時間を確保することで、アウトプットする時間を確保し、楽しく友達と交流することができた。

○昨年より引き続き「よんなーよんなープロジェクト」に取り組むことで、前年度習ったこと等を振り返りながら授業を進めることができた。

○「よんなーよんなープロジェクト」を実施するため、ALT・ドーリー先生を交えて授業プランの確認をすることで、計画的な指導に加え、担任も授業に主体的に関わり、授業改善の視点を得ることができた。また、今年度よりフロンティアティーチャーが本校に配置されたことから、ALTとの橋渡しもスムーズになった。

○チャンツやゲーム、歌を多く取り入れることで学習意欲を高めることができた。また、歌は繰り返し歌うことで、児童が英語の単語やフレーズ等を思い出し、学習内容の定着が図れた。

○日々の生活でも、英語に触れることができるよう、校内放送で英語の放送を取り入れている。

## 4. これまでの成果と課題、今後の取り組み

○低学年から英語に親しむことで、「英語が楽しい」という気持ちがいよいよ芽生え、中学年・高学年への英語を学ぶ意欲の向上に繋がっている。

○校内研修で、JOCAの職員に国際理解教育のワークショップ、ご講話をいただくことができた。この研修を通して、外国に興味をもつ等、国際理解教育について、全職員で学ぶことができた。

○ALTだけでなく、担任も進んで授業づくりから関わり授業力向上に努めていく。

○名護市版Can-Doリストを積極的に活用することで、教師も児童も系統的な指導を作成することで、系統的な指導に繋がっていく。